



名古屋大学  
医学部附属病院

# 他部門との連携による 看護DX推進のための取り組み



名古屋大学医学部附属病院  
看護部長 藤井晃子



NAGOYA UNIV. HOSPITAL  
DEPARTMENT OF NURSING

# DX：デジタルトランスフォーメーションとは

デジタルイゼーション  
(Digitization)

デジタルイゼーション  
(Digitalization)



業務や業務フローの一部を  
デジタル化

IT技術を活用しながら  
業務フロー全体を最適化

デジタルトランス  
フォーメーション

ITの浸透が人々の生活を  
あらゆる面でより良い方向に  
変化させる

## DXの実現



**診療・教育・研究を通じて社会に貢献します。**

限りある経営資源で、よりよい看護サービスを目指す。

人的資源は減少

2040年問題:生産年齢人口減少

情報資源は発展  
**DXの活用**

**患者さんも働く職員もDXに関わる人もHappyに！**



## 目的

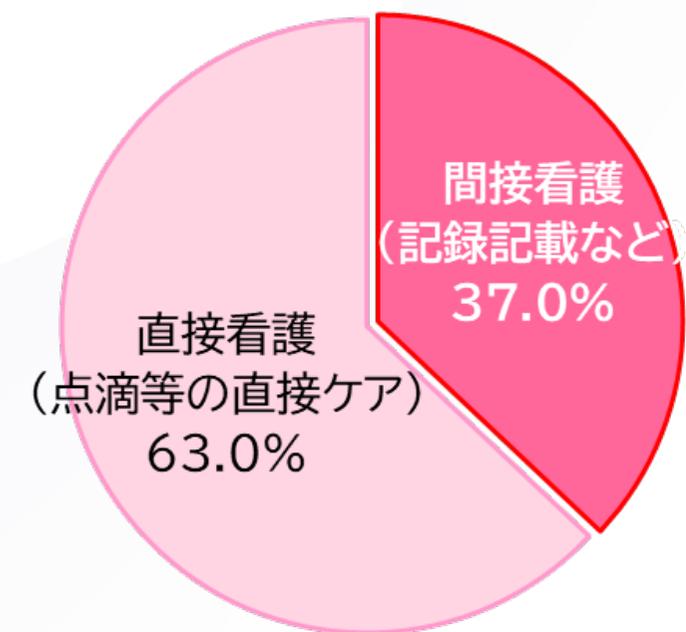
限りある経営資源で、よりよい看護サービスを目指す。

### 1. 看護サービスの可視化（正しいデータを取得し把握する）

項目、時間、提供場所、等

### 2. 可視化された看護サービスを基に、 看護業務プロセスや看護サービスを変革

- ・ 発展できる看護サービス
- ・ タスクシフト/シェア
- ・ 職員の働き方改革
- ・ 経営に貢献、 まだまだ未知数

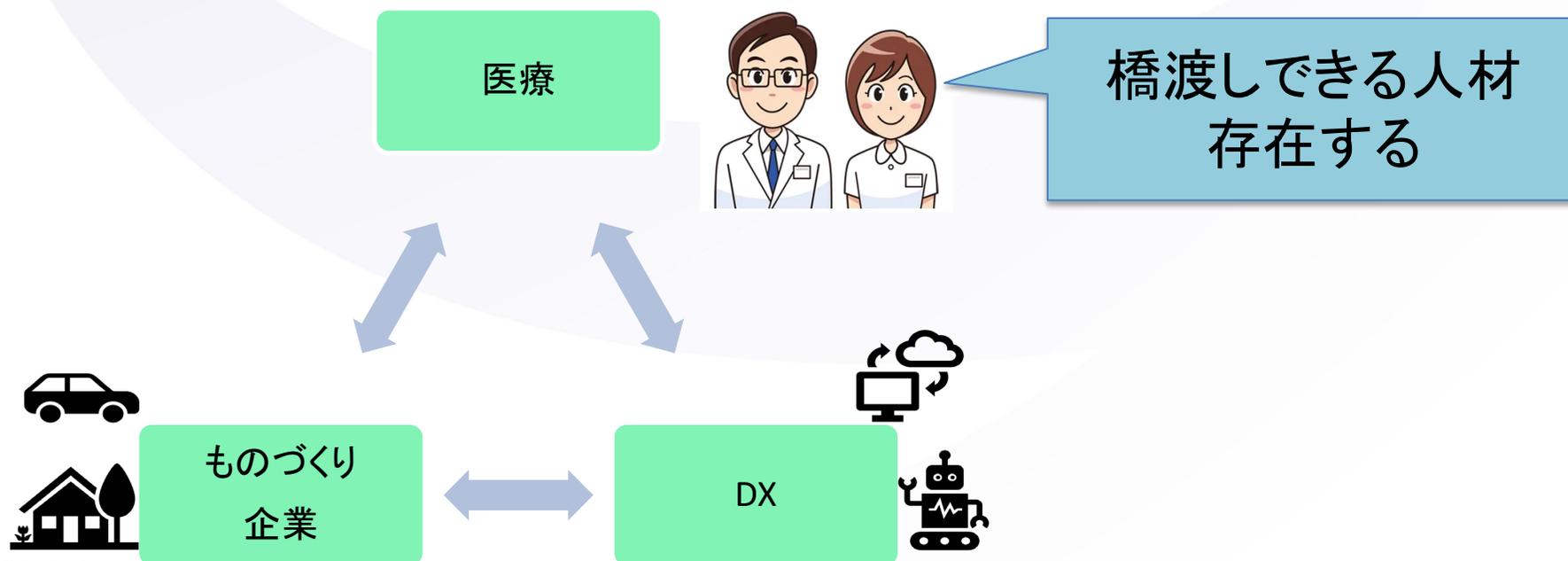


**1/3が間接看護業務**  
(当院内調査より)

# 名古屋大学の強み

- ◆ 岐阜大学との連携が可能（東海国立大学機構）
- ◆ 様々な学部と附属病院（医療）との連携が可能
- ◆ 地域貢献ができる環境

東海地域は、「ものづくり」の企業が多い



# 看護DX推進のための協力部門

## 名古屋大学医学部附属病院機構図

- 35診療科
- 33中央診療部門
- 4運営支援部門
- 3教育・研究支援部門



当院の情報系研究部門  
メディカルITセンターに相談

看護部

# メディカルITセンターの紹介

## MEDICAL IT CENTER

- 医療情報管理の面から病院運用を考える
- 病院情報システムの管理・活用
- 医療ビッグデータ解析(県委託事業)
- **医療AI構築(現在15診療科)**
- **ICTを利用した業務改善**
  - **ロボティックスの活用による業務負担軽減**
  - **IoTデバイス等による見える化・効率化**
- **他 情報技術の医療分野への積極的な導入**



Tokai National Higher Education and Research System

交通アクセス お問い合わせ

機構の概要

教育・研究活動

情報公開

サイト内検索

ホーム > 教育・研究活動 > 医療健康データ統合研究教育拠点

### 医療健康データ統合研究教育拠点

アカデミック・セン  
トラル

糖鎖生命コア研究拠  
点 (IGCORE)

医療健康データ統合  
研究教育拠点

航空宇宙研究教育拠  
点



### 医療健康データ統 合研究教育拠点

# 構成メンバー

- ・ 看護部門  
看護部長、副看護部長（各担当）、看護師長（各担当）
- ・ メディカルITセンター  
センター長、副センター長、医員
- ・ 協力、共同研究先  
各学部、他大学、行政、企業など

# メディカルITセンターとのミーティング

(日程)

1回/月、1回=1時間程度、必要時追加

(内容)

- ブレインストーミング
- 問題の共有
- 課題の明確化、洗練化➡対策の具体化

# メディカルITセンターとのミーティング

- ブレインストーミング  
テーマを決めず、どんなことでも話しをする。  
最近のトピック、困りごと、など
- 問題の共有
- 課題の明確化、洗練化→対策の具体化

# ブレインストーミング内容

看護職員はもっと看護に専念したいと思っている。

- 勤務時間の多くを看護記録の記載に充てている。
- 超過勤務時間が多く、スタッフたちが疲労している。
- 施設動線が長いために、搬送に多くの時間を要する。
- 医療従事者による手指衛生の直接観察法はゴールドスタンダードと考えられている一方で、手間がかかる。  
等々



最新のデジタルテクノロジーを活用することで、  
業務プロセスや医療サービスを変革できないか？

# メディカルITセンターとのミーティング

- ブレインストーミング
- 問題の共有

**見えている景色が異ならないよう、専門用語を使用する際は、どの職種でもわかるような説明を心がける。**

- 課題の明確化、洗練化→対策の具体化

# メディカルITセンターとのミーティング

- ブレインストーミング
- 問題の共有
- 課題の明確化、洗練化➡対策の具体化

取り組み内容のしぼりこみ（取り組む内容の優先順位、等）

例) ロボットによる搬送業務、

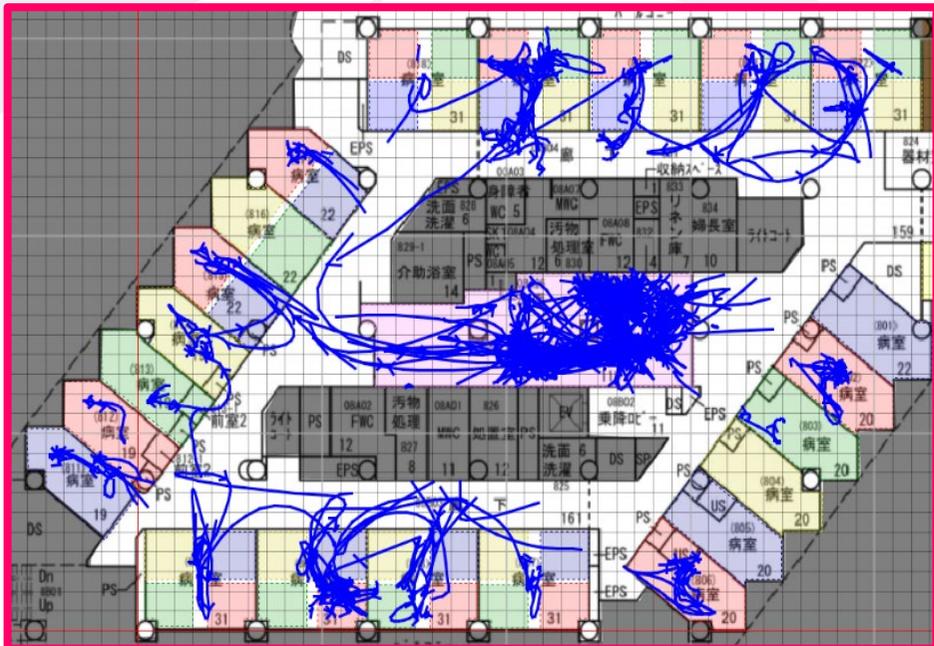
ロボットを利用した遠隔コミュニケーション

業務導線可視化



# 実際の取り組み一例（業務動線可視化）

## 【一般病棟】

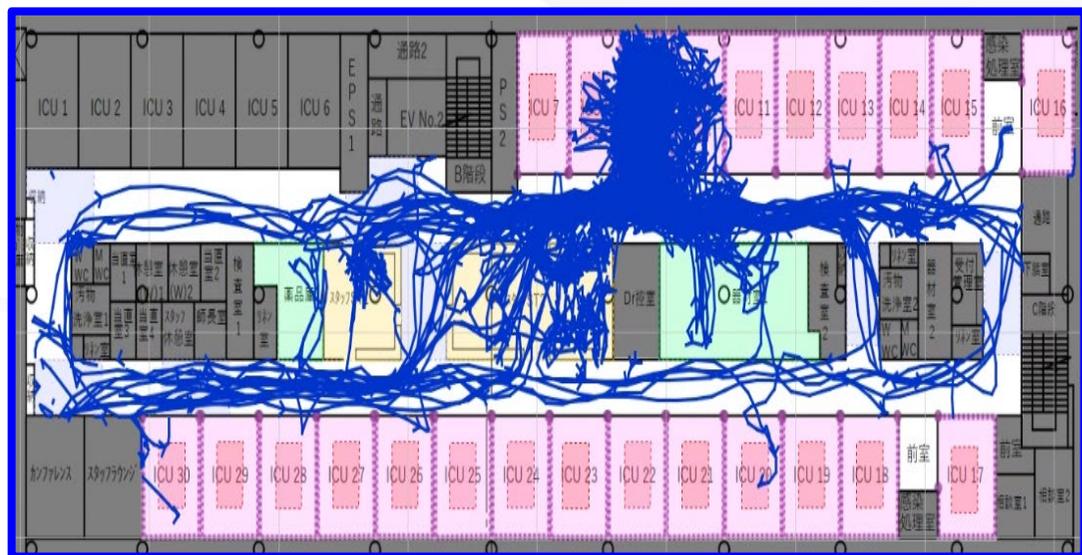


看護業務の繁忙化は  
**医療事故のリスクが高まる**

看護業務内容の把握と可視化

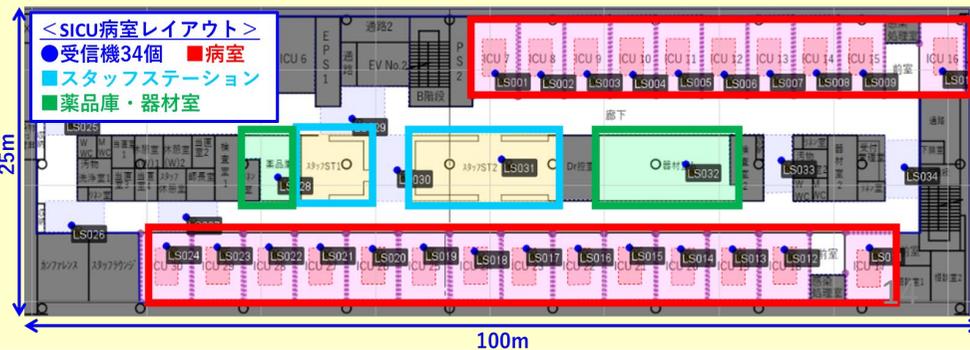
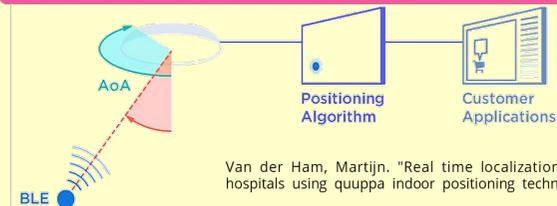
看護師の業務負担軽減の環境構築  
**医療の質・安全向上へつながる**

## 【集中治療室病棟】



## < Bluetooth Low Energy (BLE) 位置測位システム >

Quuppa高精度位置測位：Angle of Arrival方式



# 実際の取り組み一例（ロボット運用検証）

（目的）

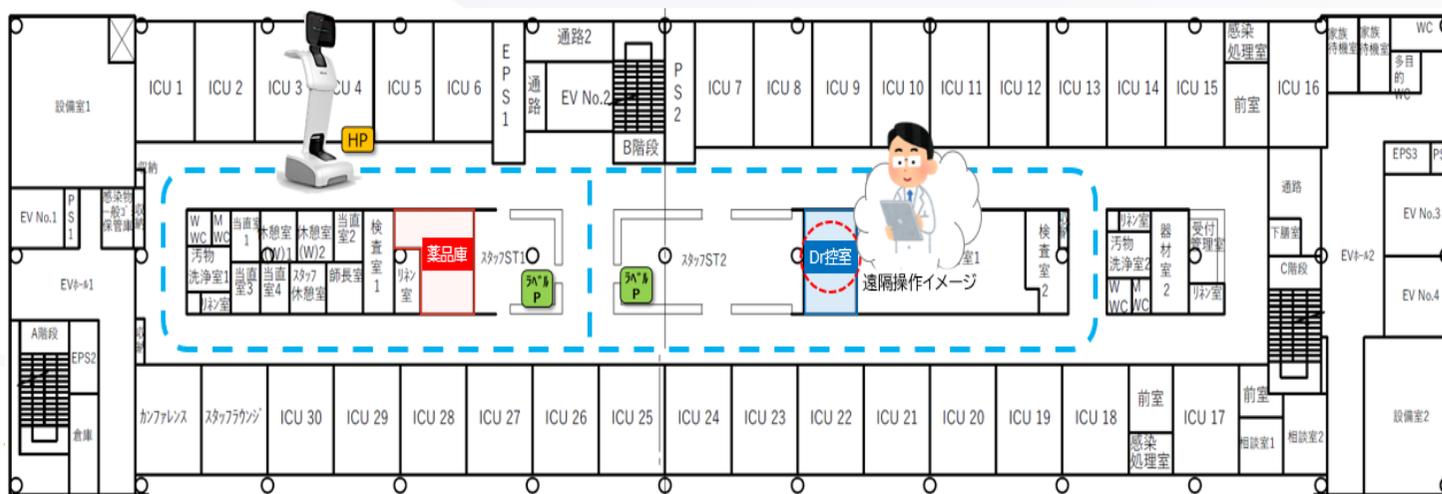
ICT（情報通信技術）を活用して  
医療業務の効率化や患者サービス向上を図る

（検証内容）

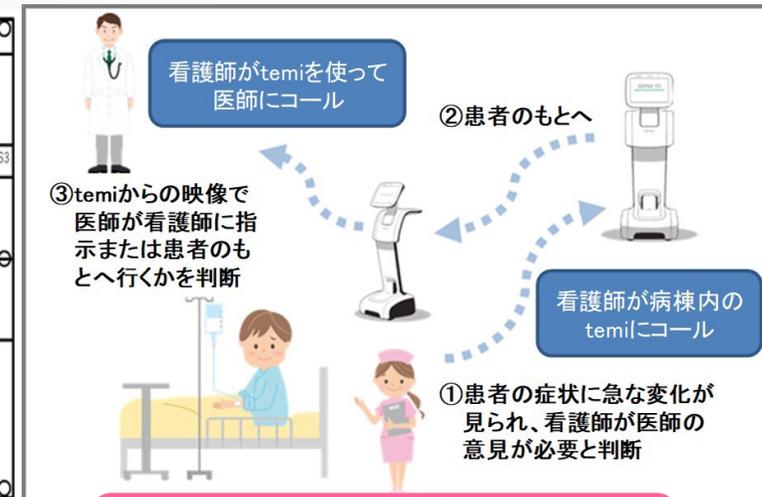
- ①ロボットによる医薬品等の搬送業務
- ②ロボットを利用した遠隔コミュニケーション



医薬品搬送 検証



※ HP : temi充電用ホームポジション  
※ [ ] : temi可動範囲案(ICU1~30室内含む)



医師と看護師の  
遠隔コミュニケーション

**診療・教育・研究を通じて社会に貢献します。**

限りある経営資源で、よりよい看護サービスを目指す。

人的資源は減少

2040年問題:生産年齢人口減少

情報資源は発展  
**DXの活用**

**患者さんも働く職員もDXに関わる人もHappyに！**

